

**製品名: p40-phox (リン酸化 Thr154) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05157**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	NCF4
別名	NCF4; SH3PXD4; Neutrophil cytosol factor 4; NCF-4; Neutrophil NADPH oxidase factor 4; SH3 and PX domain-containing protein 4; p40-phox; p40phox
遺伝子 ID	4689.0
SwissProt ID	Q15080
免疫原	抗血清は、Thr154 のリン酸化部位周辺のヒト p40 phox 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 120-169

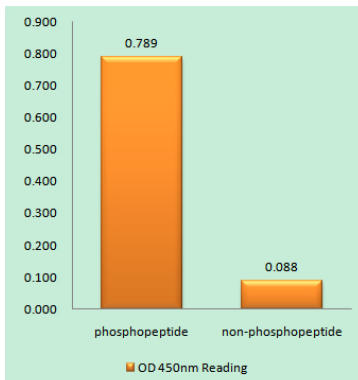
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、スーパーオキシド産生食細胞 NADPH オキシダーゼの細胞質調節成分であり、宿主防御に重要な多成分酵素系である。このタンパク質は骨髄系細胞で優先的に発現する。主に好中球細胞質因子 2 (NCF2/p67-phox) と相互作用し、好中球細胞質因子 1 (NCF1/p47-phox) と複合体を形成する。この複合体はさらに低分子 G タンパク質 RAC1 と相互作用し、細胞刺激によって膜に移行する。この複合体は、酵素系の膜統合触媒コアであるフラボシクロム b を活性化する。このタンパク質の PX ドメインは PI(3)キナーゼのリン脂質産物と結合できるため、PI(3)キナーゼを介したシグナル伝達において役割を果たしていると考えられる。このタンパク質のリン酸化は、酵素活性を負に制御することが明らかになった。選択的スプライシングを受けた転写バリエーション。機能: NADPH オキシダーゼの構成要素。NADPH オキシダーゼは、電子が NADPH から分子状酸素へ輸送され、反応性酸化中間体を生成する酸化バースト反応を担う多成分酵素系である。NADPH オキシダーゼ複合体の組み立ておよび / または活性化に重要な役割を果たす可能性がある。類似性: 1 つの PX (phox 相同) ドメインを含む。類似性: 1 つの SH3 ドメインを含む。サブユニット: p40-PHOX は主に p67-PHOX と会合し、p47-PHOX と複合体を形成する。組織特異性: 発現は造血細胞に限定される。

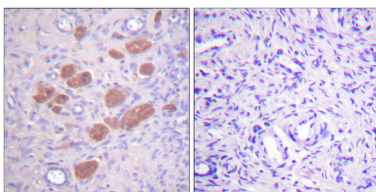
## 研究分野

白血球の内皮透過性遊走;

## 画像データ



p40 phox (リン酸化 Thr154) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



p40 phox (リン酸化 Thr154) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト卵巣の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。